

2021年2月8日

Press Release

スマートスキャン株式会社

スマートスキャン、グローバル・オープンイノベーション・プログラム 「SmartCityX」に採択

ヘルステックベンチャー企業であるスマートスキャン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 濱野 斗百礼、神山 一彦、以下「スマートスキャン」）は、この度 Scrum Ventures LLC（本社：米国サンフランシスコ市 ジェネラルパートナー：宮田拓弥）が主催するグローバル・オープンイノベーション・プログラム「SmartCityX」（以下「本プログラム」）に採択されました。

「SmartCityX」は、各業界をリードする大企業パートナーが、世界中の最先端のスタートアップとともに「未来のまち」を共創するグローバル・オープンイノベーション・プログラムです。



あなたの脳疾患リスク
(脳梗塞・くも膜下出血・脳出血・脳腫瘍など)
ご存知ですか？

スマート脳ドック®

Smart Scan

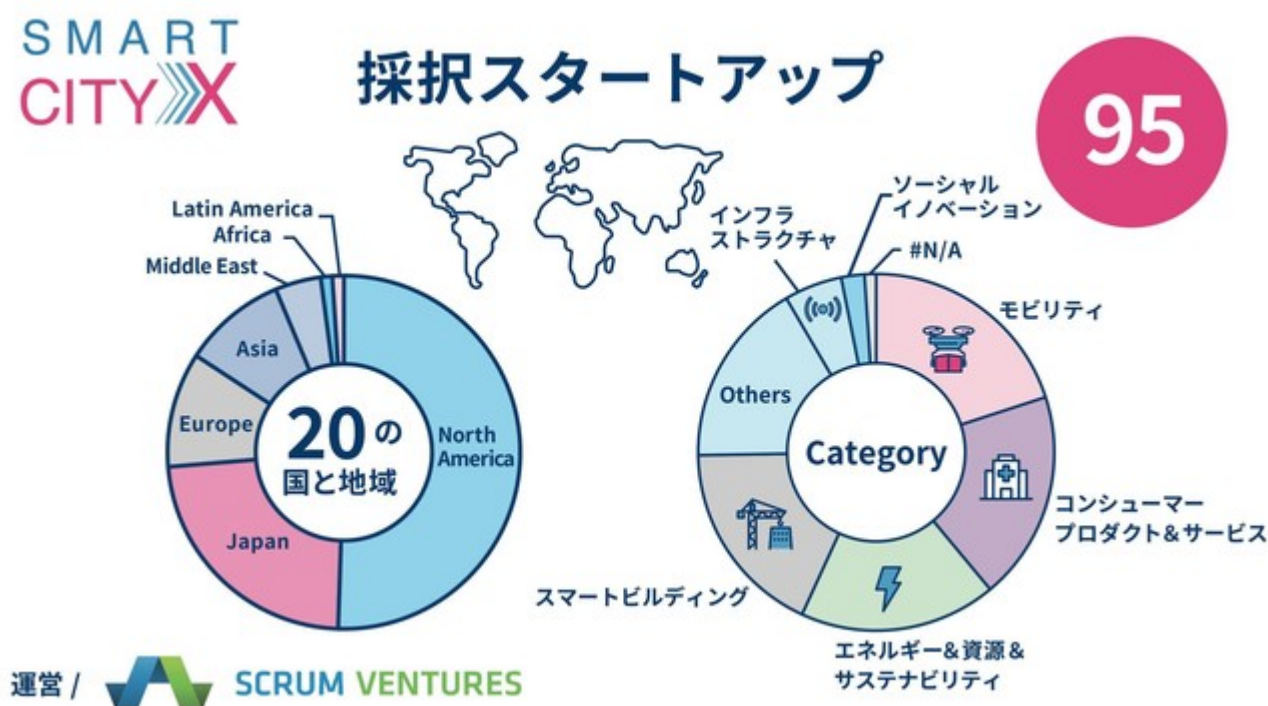
■“スマート脳ドック”を導入する医療施設の拡大を図るとともに、“未病”の世界観を普及

スマートスキャンは「IT×予防医学×検査」をコンセプトとし、銀座をはじめとした「スマート脳ドック」を導入するクリニックのプロデュース、企業、団体への健康経営促進および生活習慣に起因した病気予防の普及に努めております。MRI や CT といった高度医療機器を用いた検査にフォーカスし、予約から検査結果の確認まで WEB 上で行える「スマート脳ドック」は 3 年間で 4 万人の幅広い層が受診いたしました。これらの検診データは、将来の予防医療（疾病の発症予測モデルの構築）やデータに基づく適切な治療へと役立てる研究・分析をすすめる他、クラウドや AI を活用したウェルネスデータプラットフォームの構築を進めております。このように、スマートスキャンが目指すスマートな医療提供、医療データの利活用による健康増進社会を目指

す世界観が本プログラムと合致し、本プログラムに採択されました。今後は、“Society 5.0 × New Normal” の原動力となる生活者目線の DX を推進するとともに、参加するパートナー・サポーター企業、オブザーバー自治体と具体的な事業開発の検討を進め、事業開発プログラム（5月頃までの予定）において、具体的な事業共創に向けた取組を本格化、「デモデイ」（6月頃に開催予定）の場でプログラムの成果を発表する予定です。

■ 「SmartCityX」 とは

「SmartCityX」は、デジタル化やコロナ禍の社会変容を前向きな未来への変革の機会と捉え、各業界を代表する大企業と世界中のスタートアップが協働し、産業や技術の視点だけではなく、生活者目線で価値の高いサービス及びアプリケーションを共創するグローバル・オープンイノベーション・プログラムです。



■ 「SmartCityX」 概要

主催：スクラムベンチャーズ

パートナー企業：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、出光興産株式会社、ウーブン・プラネット・ホールディングス株式会社、積水化学工業株式会社、西日本電信電話株式会社、日本ユニシス株式会社、株式会社博報堂、東日本旅客鉄道株式会社

サポーター企業：味の素株式会社、株式会社ジェーシービー、スズキ株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、ライオン株式会社

オブザーバー自治体：福井県、三重県、茨城県鹿嶋市 / 株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー、東京都渋谷区、大阪商工会議所

リソースパートナー：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社、CIC Japan 合同会社、日本貿易振興機構（ジェトロ）

公式ウェブサイト：<https://www.smartcity-x.com/>

公式ツイッター：@Smartcity_x_jp

開催期間：2020年8月から2021年6月迄を予定

■スマートスキャン株式会社概要

社名：スマートスキャン株式会社 SmartScan,Inc.

設立：2017年2月1日

所在地：東京都中央区日本橋人形町 2-14-6 セルバ人形町 2F

URL：<https://smartscan.co.jp/>

役員：代表取締役 濱野 斗百礼 神山 一彦

メンバー：32名

事業内容：ウェルネスデータプラットフォームの構築、医業関連施設のプロデュースおよびテクノロジーの提供、パーソナルヘルスケアレコード（PHR）の収集・解析

■本件に関するお問い合わせ先

スマートスキャン株式会社 広報担当：五十嵐

Email：pr@medicalcheckstudio.jp